

学内 OSL のプリンター有料化について

【ご質問】（投稿日：2018年3月20日）

本日2018年3月20日にリニューアルしてから初めて、附属図書館の OSL を利用したのですが、印刷機が有料になっており、また、使用も複雑になっておりました。

情報機器が更新されるということは掲示されておりましたので知っていましたが、印刷機が変わることや、有料化されることは、以前から告知されていたことなのでしょうか？

また、入学前にはコピーが1年間200枚まで無料である、ということが伝えられておりましたが、これは何らかの対応で保障されますか？

もし、保証されないという場合は納得がいかないのですが、それ相応の説明や対応をしていただきたいです。

例えばレポートの紙媒体による提出を学内全体で取りやめる、など考えておられるのであれば、教えてください。

【回答】（回答日：2018年5月10日）

（情報環境機構）

ご質問に下記のとおり回答いたします。

平成30年3月から稼働した教育用コンピュータシステムでは、プリントサービスは廃止しました。印刷環境を残さざるを得ない学部特有の事情がある場合については、当該部局で印刷環境を用意して頂くことになっておりますので、教育的観点から印刷が必要な場合は、引き続き各教育プログラムを提供している学部・研究科でプリンタを用意頂くことになっております。

プリントサービスの廃止は、情報環境機構ホームページでは1月11日から告知させて頂いております。また、昨年6月末に開催された学部長懇談会で報告するとともに、学部長・国際高等教育院長には、昨年6月27日文書で通達、科目担当教員への周知を依頼させて頂いておりましたが、学生の皆様への周知が不十分だったことはお詫びいたします。

なお、プリンタでの印刷を代替する措置としては、授業資料の提供や課題レポートの提

出、返却をオンラインで行える学習支援システム PandA を稼働させており、KULASIS との連携も行っております。情報環境機構としていたしましては、これらのサービスの活用を授業を担当されている先生方に引き続き働きかけて参ります。

以上、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。